

料平成17年11月1日

土木学会鋼構造委員会 小委員会活動報告

小委員会名 (分科会名)	高力ボルト摩擦接合継手の設計 法に関する調査検討小委員会	委員長 (分科会長)	森 猛	連絡幹事	野澤伸一郎
活動予定期間	平成14年10月 ～ 平成17年9月				
活動の目的	高力ボルト摩擦接合継手の設計において、摩擦面の状態や拡大孔の使用、板厚差のある場合や千鳥配置された継手等々、国内外の基準類でその取り扱いが異なっているものや必ずしも設計と実際の挙動が十分保証されているとはいえないものも少なくない。また、最近では超高力ボルトや厚板の接合、溶接との併用継手など新しい課題も出てきている。本小委員会ではこれらの諸問題について国内外の設計基準類と最近の研究成果を調査し、新たに「高力ボルト摩擦接合設計施工指針」の作成を目指す。				
これまでの活動状況	<p>現在までに11回の小委員会を開催している(H14.10, H15.2, H15.4, H15.7, H15.10, H16.1, H16.4, H16.7, H16.10, H17.1, H17.4)。第1WGから第5WGまでの5つのWGが設置されており、小委員会開催に併せて、1もしくは2回それぞれ開催されていた。前回報告以降、小委員会やWGの開催は行なわれていないが、編集委員会を中心とした活動を行っており、「高力ボルト摩擦接合設計施工指針(案)」の発刊に向けて、活動を行なっている。第11回小委員会(H17.4)に指針案の第1校を提示した。それ以降は、メールおよび編集委員会での活動が中心である(前回報告以降分の以下)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指針案の第1校の修正意見の集約および編集委員による修正作業(6月中旬)。 ・ 第2回編集委員会(7/6) ・ 指針案の第2校の配信および修正意見の依頼(7月中旬)。 ・ 指針案の第2校の修正意見の集約および編集委員による修正作業(8月中旬) ・ 第3回編集委員会(9/2) ・ 指針案の第3校の配信および修正意見の依頼(10月中旬)。 				
今後の活動計画と 目標とする成果	<p>平成18年1月30日までに「高力ボルト摩擦接合設計施工指針(案)」原稿の作成を目標に活動を行う予定である。今後も、編集委員会を中心に指針(案)作成に向けた活動を行う。編集委員会は、平成17年11月下旬に行い、その後、編集委員会にて指針(案)の修正作業を行う。最終的に、指針(案)の原稿を平成18年1月30日までに事務局に提出する予定である。また、最終の小委員会(第12回)は平成18年1月に開催予定。</p> <p>指針案の刊行予定は3月とし、5月に講習会を実施する。その後、本委員会の活動を終了する予定である。</p>				
その他	講習会開催(平成18年5月予定)まで延長希望				